

# 黒部市議会 平成28年度 議会報告会 実施報告

## 1. 開催概要

- ①開催日 平成28年10月25日 火曜日
- ②開催時間 19時00分～20時00分
- ③開催場所 市役所 交流棟 2階 会議室
- ④参加者 市民52名、議員17名、事務局6名 合計75名



## 2. 報告内容（詳細は、別添のPDF参照）

- ① 政務活動費の取り扱いについて（木島 信秋 議長）
- ② 総務文教委員会（山田 丈二 委員長）
- ③ 生活環境委員会（川本 敏和 委員長）
- ④ 産業建設委員会（中村 裕一 委員長）
- ⑤ 決算特別委員会（辻 靖雄 委員長）
- ⑥ 総合交通対策特別委員会（伊東 景治 委員長）
- ⑦ 公共施設等あり方検討特別委員会（村井 洋子 委員長）
- ⑧ （仮称）くろべ市民交流センター建設検討委員会（森岡 英一 委員長）

※議会運営委員会及び議会改革特別委員会には報告なし

### 3. 議長開会挨拶 主旨

政務活動費について市民の皆様へ大変不安を与えている。県内の他市議会状況は、報道のようであるが、黒部市議会においては、過去5年分を調査した結果、不正使用は、発見できなかった。今日のような議会報告など議会活動に議員全員で取り組み、二元代表制として市民の負託に応えていきたい。

### 4. 一括質疑・意見交換から

のべ6名から意見や質問を頂いた。(質問5、意見1)



#### 意見

黒部市民病院の食事について、生活環境委員会での取り上げていたようだが、以前に比べて、食事内容は改善されてきている。食事の選択制にさらに取り組むなど今後のさらなる改善に期待している。

### 質問（公共施設等あり方検討特別委員会）

Q：公共施設の建物調査 136 施設の調査内容とその結果については

Q：今後、どのような施設が対象になるのか

A：144 施設のうち 136 施設が調査対象となり、市役所職員と専門業者が 3 人 1 組で調査をした。結果については、まだ報告をうけていない。なお、調査結果の公表については、今後の課題と認識している。対象となる施設については、当局から地元への説明が丁寧に行われると聞いている。

### 質問（政務活動費について）

Q：県議会や市議会で政務活動費の不正使用による辞職が相次いでいる。黒部市議会は調査をしたといわれるが、もし仮に黒部市議会においても不正発覚時は、責任をどのようにとるのか

A：不正は無かった。もし仮に不正が発覚した時には、各議員は議員として、議長としての責任と議会全体としての責任も十分認識している。

Q：条例と運用について不十分だと感じている、さらに強力な条例にするべきだ。また、領収書のホームページで公開は、過去にわたって公開していくのか

A：現在、議会改革特別委員会で、ホームページでの公開について行うことを決めた。そのうえで、どのような方法で公開をすればよいか議論をしている。

Q：黒部市議会において飲酒をして登庁しているかのようなことが報道されていたが、議会に対して大変な不信感がある。どのように取り組むのか

A：登庁時にアルコール臭のする議員がいたことは事実である。今後このようなことがないように、議員への自覚を促した。議会全体で、市民の皆様から信頼されるような議会となるように、継続して取り組んで行く。

## 5. 議会報告会を終えて

一般参加者が想定より少なかった。これは2回目の開催であることや雨天時と天候の影響もあるが、さらなる参加者の増加を目指すことが重要だと感じた。各報告については、前回よりは分かり易く、スライドと議会だよりが連携をした内容になったと評価ができるかが、以下については課題が残った。

- ・ 3分とした報告時間に差異があったこと
- ・ スライドと議会だよりを連動させた上、その使い分けの充実

質疑応答に関しては、政務活動費に関して大変厳しい意見と質問が寄せられた。この時期に議会報告会を開催し、直接市民の皆様と対話できたことは収穫だと感じられた。また、政務活動費以外の意見や質問があったことも良かったと感じている。なお、質疑については、議会側の回答が、当局の施策を紹介することが中心であり、議会独自の取組や、当局の施策を受けて議会としてどのような審議があったのか、どのような考え方が多かったのか、二元代表制を踏まえた回答ができるよう努めることが重要だと感じられた。

最後に、全般を通して、前回の議会報告会を基本として、2回目を行った。進行方法や報告内容など、概ねこれまでの2回を検証し、今後の基本的な実施方法を検討できる段階になったと感じられた。また、開催時間は概ね1時間程度として、開催場所と開始時刻については、今後の検討課題であると思われる。